

2005年9月5日

■ 10月は臓器移植普及推進月間 ■

97年の臓器移植法施行以来、臓器提供意思表示カードの配布枚数が1億枚を突破

新デザインの「臓器提供意思表示カード」を発行開始

意思表示の記入方法は従来通り。今までの臓器提供意思表示カードや各団体のオリジナルカードも有効

社団法人 日本臓器移植ネットワークでは、今年度の臓器移植普及推進月間である10月より新しいデザインの臓器提供意思表示カードを発行することとなりました。

新しいデザインは、臓器移植法が施行された1997年10月以来のカード配布枚数が今年9月で1億枚を突破することを機に発行するもので、新しいデザインの発行は初めてのこととなります。

デザインは、「黄色い天使のカード」をコンセプトに、これまでに親しまれてきた天使の図柄を新たにしました。横タイプと縦タイプの2つのデザインで、色や配置をアレンジした4種類となっています。

意思表示面の記入方法は従来通りとなっており、これまでのカードや各団体が作成したオリジナルカードでの意思表示も有効です。

新しいデザインの臓器提供意思表示カードは、愛・地球博（愛知万博）でのキャンペーン（9月21日（水）から25日（日））や臓器移植普及推進月間中の催し物などで配布します。また、普及推進月間での配布後は各地方自治体の役所窓口、保健所、郵便局、運転免許試験所、コンビニエンスストアなどに随時設置されていく予定です。

日本臓器移植ネットワークでは、新しいデザインのカード発行にともない、自分の意思を2枚のカードに記入する“2枚キャンペーン”を呼びかけます。

1枚を家族に渡して自分の意思を伝えることで、命のあり方や生きることを見つめ直し、臓器移植という医療について、より多くの方々が考えるきっかけにしていきたいと考えています。

このカードは常に 携帯してください。

「黄色い天使のカード」がコンセプト 横タイプと縦タイプの4種類

現在の臓器移植法では、脳死下での臓器提供をするには、この意思表示カードへの記入が不可欠です。

2004年8月に実施された政府の世論調査によると、脳死判定後の家族の臓器提供に関する意思を尊重し提供を認めると回答した方は、全体の67.2%に達したものの、実際の臓器提供意思表示カード所持率は、全体の10.5%と1割程度で、そのうち記入している方は61.4%に過ぎませんでした。

15歳以上の記入が有効となっている現行法では、1億枚という配布枚数は、ほとんどの方にカードを所持してもらえる配布数と言えますが、臓器提供の意思とカード所持率が大きく隔たっている現状が浮き彫りとなっています。

こうしたなか、移植を希望しながらも移植のチャンスが得られないまま多くの方が亡くなっています。

また、多額の募金を集めて海外渡航される方が後を絶たず、海外からも日本における臓器移植医療のあり方が問われるようになってきています。

◇配布開始 : 愛・地球博(愛知万博)でのキャンペーン(9月21日(水)から25日(日))や臓器移植普及推進月間中の催し物などで配布

◇記入方法 : 従来通り

◇設置 : 臓器移植普及推進月間での配布後から、各地方自治体の役所窓口、保健所、郵便局、運転免許試験所、コンビニエンスストアなどに随時設置していく予定

◇その他 : これまでに発行された臓器提供意思表示カードや各団体が作成したオリジナルカードでの意思表示も有効となっています。

【この件に関するお問合せ先】

(社)日本臓器移植ネットワーク

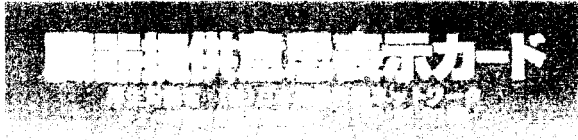
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-5-16 晩翠ビル3階

TEL : 03-5501-3360 FAX : 03-3502-2072 広報担当/雁瀬^{がんせ}

ホームページ : <http://www.jotnw.or.jp>

■新しいデザインの臓器提供意思表示カード

横カード（オレンジ、黄緑）と、縦カード（青、黄）の全部で4種類。



臓器提供意思表示カード

このカードは常に携帯してください。

① 該当する①②③の番号を○で囲んだ上で提供したい臓器を○で囲んで下さい。

私は、脳死の判定に従い、脳死後、移植の為に○で囲んだ臓器を提供します。 (×をつけた臓器は提供しません)

心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球・その他()

私は、心臓が停止した死後、移植の為に○で囲んだ臓器を提供します。 (×をつけた臓器は提供しません)

腎臓・膵臓・眼球・その他()

② 私は、臓器を提供しません。

署名年月日: 年 月 日

本人署名(自筆)

家族署名(自筆)

可能であれば、この意思表示カードを持っていることを知っている家族が、そのことの確認の為に署名して下さい。

〒100 東京都千代田区千代田1-1-1 厚労省
臓器提供意思決定センター
0120-220149

〒100 東京都千代田区千代田1-1-1 厚労省
臓器提供意思決定センター
0120-220149



このカードを常に携帯してください。

臓器提供意思表示カード



このカードを常に携帯してください。

臓器提供意思表示カード

① 該当する①②③の番号を○で囲んだ上で提供したい臓器を○で囲んで下さい。

私は、脳死の判定に従い、脳死後、移植の為に○で囲んだ臓器を提供します。

(×をつけた臓器は提供しません)

心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球
その他()

私は、心臓が停止した死後、移植の為に○で囲んだ臓器を提供します。

(×をつけた臓器は提供しません)

腎臓・膵臓・眼球
その他()

② 私は、臓器を提供しません。

署名年月日: 年 月 日

本人署名(自筆)

家族署名(自筆)

家族署名(自筆)

家族署名(自筆)

可能であれば、この意思表示カードを持っていることを知っている家族が、そのことの確認の為に署名して下さい。

2005年9月19日

10月は臓器移植普及推進月間
think transplant キャンペーンの普及啓発ツール**黄色と緑のリストバンド約10万本を全国で配布**

～“移植で助かる命について考えた証”として 命を語り合い臓器移植への関心と理解の向上を目指して～

社団法人 日本臓器移植ネットワークは、臓器移植の普及啓発ツールとして黄色と緑のリストバンドを制作し、臓器移植普及推進月間である10月を中心に、愛・地球博の「市民パビリオン 対話ギャラリー」や東京・大阪・名古屋を中心に全国で実施する「think transplant キャンペーン」で約10万本を配布していきます。

今回制作した黄色と緑のリストバンドは、移植で助かる命について考えた人に着用してもらうことを目的に配布するものです。

リストバンドのカラーには、日本の臓器提供意思表示カードや昨年から実施している think transplant キャンペーンで使用している「黄色」と、臓器移植のテーマカラーである「緑」という国内の臓器移植を象徴している2色を採用しました。

日本臓器移植ネットワークでは、“移植で助かる命について考えた証”としてリストバンドを配布することにより、命を考えるコミュニケーションが広がり、臓器移植への関心と理解を高めていきたいと考えています。

“移植で助かる命について考えた証” 黄色と緑のリストバンド

臓器移植は、多くの方々には、身近なこととして考えにくい医療です。日ごろの生活で臓器移植について考える機会は少なく、臓器提供意思表示カードへの記入や携帯には結びついていないのが現状です。

臓器提供意思表示カードは、私たちの命のあり方を選択した意思を表しており、移植によって助かる命があるという事実を考えることが臓器移植の普及に欠かせません。

こうしたなか、日本臓器移植ネットワークでは、「臓器移植について考えた人」からの情報としてリストバンドに着目しました。

命のあり方や臓器移植について考えた人のリストバンドを通じてコミュニケーションのきっかけを作り、そのコミュニケーションが広がることで、臓器提供意思表示カードの記入・携帯を促していきたいと思えます。

■think transplant キャンペーン 普及啓発ツール 黄色と緑のリストバンドについて

配布期間 : 9月下旬から11月上旬 (think transplant キャンペーン期間中)

主な配布エリア : 愛・地球博「市民パビリオン 対話ギャラリー」、東京と大阪での街頭サンプリング、東京・大阪・名古屋のFM局とのタイアップイベント等を中心に全国。

配布数 : 約10万本を予定

【この件に関するお問合せ先】

(社) 日本臓器移植ネットワーク

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-5-16 晩翠ビル3階

TEL : 03-5501-3360 FAX : 03-3502-2072 広報担当/雁瀬

ホームページ : <http://www.jotnw.or.jp>